

真珠ができる理由

貝は海水を吸い込み、その中の栄養分を吸収して生きています。(砂)
海水を吸いこむ時に一緒に、泥、小石なども吸い込みます。そういう場合、貝は大抵の異物は吐き出せるのですが、異物が貝殻と貝の体を覆う膜の間に入るなどで、どうしても吐き出せない時はその異物を体の中に保つしかありません。

その異物によ、て内臓などが傷められないようにするために、外套膜という器官から、分泌物を出して、長い年月をかけてその異物を核として、幾重にも包み込みます。こうして真珠ができます。

外套物... 貝などの軟体動物に見られる器官で、炭酸カルシウムを分泌してして貝殻を作り出したり、呼吸をしたり、エサを取り込んだりするために必要な海水の量を調整する働きをする。

天然の真珠は、偶然にのみ見つかる

真珠の核となる異物が貝に入るのは、偶然によるため、天然の真珠が見つかる確率というのは1000分の1程度なのです。

また、核となる異物は不規則な形状のため、できた真珠も宝飾品として使用できるものはほとんどありません。

真珠養殖のしかた

最初に、かくとなる異物の代わりに貝を真円形に削り、たもの^かと後に真珠袋となる外套^{がいとう}膜^{まく}上皮細胞^{じょうひせうぼう}の切片(ピース)が貝の生殖単に移植されます。

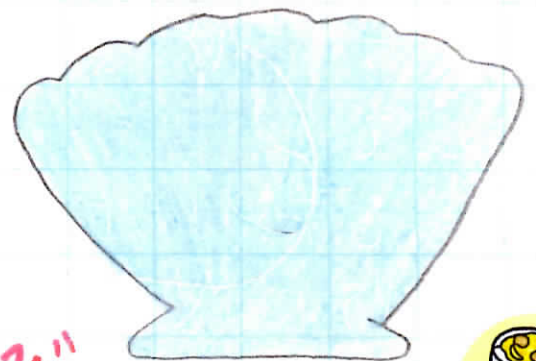
それ以降の貝の体内で起こる変化と過程は天然真珠も養殖真珠も同じです。

真珠の養殖量ランキング

1位 愛媛県 7.451kg

2位 長崎県 6.867kg

3位 三重県 3.735kg



天然の真珠は、偶然にのみ見つかる

Very soon

